

# 大阪万博の収益金を国際文化交流や 伝統文化振興などに活用

日本万国博覧会記念基金は、「人類の進歩と調和」をテーマに開催された日本万国博覧会(1970[昭和45]年)の成功を記念し、その理念と資産を後世に伝えていくことを目的として、1971(昭和46)年に設立されました。

その財源は、国や地方公共団体からの出資ではなく、大阪万博への日本を含む77か国から116という多くのパビリオン出展と、国内外からの6400万人を超える来場者による約195億円もの収益金のうち、博覧会跡地の公園としての整備費40億円を除いた155億円でありつづけています。

基金の設立以来、国からの補助金を一切受けず、万博の成功を記念するにふさわしい国際相互理解の促進や文化的活動

に対して、日本国内のみならず、欧米・アジアなどさまざまな国に対し、累計約4,300件、約189億円の助成をおこなってきました。

2014(平成26)年4月より関西・大阪21世紀協会が当事業を承継し、基金運用収入の1/2をもって基金事業を運営することになりました。(残りの1/2は大阪府の日本万国博覧会記念公園事業特別会計への寄付金となります。)

「平成27年度日本万国博覧会記念基金事業」の助成総額は約1億円の予定で、助成重点テーマを「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」および「日本の伝統文化の伝承および振興活動」として、積極的に支援していきます。(募集案内は裏表紙参照)

## 助成の対象となる活動

万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な、次の活動を対象としています。

### (1) 国際相互理解の促進に資する活動

#### ① 国際文化交流、国際親善に寄与する活動

例 留学生支援など海外との人材交流、  
劇団・オーケストラなどの海外公演、  
外国における日本庭園の建設、  
ジャパンフェスティバルの開催など



オーケストラ海外公演



国際博覧会出展

#### ② 学術、教育、社会福祉、医療および保健衛生に関する国際的な活動

例 国際会議の開催、  
外国における  
日本語教育用  
機材の購入、  
日本語出版物  
の翻訳など



国際会議開催

#### ③ 自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動

例 環境に関する国  
際会議、  
環境技術に関  
する人的交流、  
環境に関する  
テレビ番組の  
制作など



植林活動

### (2) 文化的活動

#### ① 日本の伝統文化の伝承および振興活動

例 日本国内における文楽や能など伝統芸能の公演および普及活動など



文楽の公演



能の公演

#### ② 芸術及び地域文化に関する活動

例 日本国内における郷土芸能民  
芸の振興活動・地方劇団や楽  
団の公演など



郷土芸能の公演

## 助成金額

### (1) 国際相互理解の促進に資する活動

助成金は、100万円から最高1000万円の範囲内で、助成対象事業費の合計に対し1/2以内の額とします。したがって、事業者は、助成対象事業費の1/2以上を、他の助成金を除く自己資金またはその他の資金で賄う必要があります。

### (2) 文化的活動

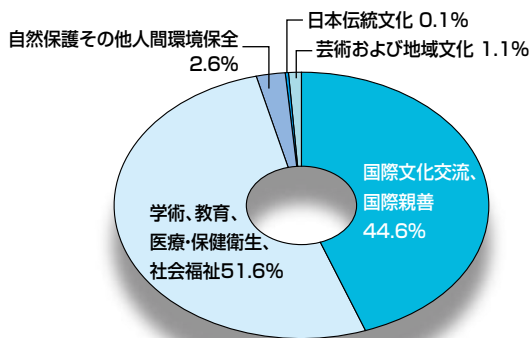
助成対象事業費の合計額に対し1/2以内の額か、助成対象事業費に応じて定額のどちらかを選択できます。

- 助成対象事業費の合計に対し1/2以内の額を選択した場合は、事業形態にかかわらず400万円を上限とします。したがって、事業者は助成対象事業費の1/2以上を、他の助成金を除く自己資金またはその他の資金で賄う必要があります。
- 助成対象事業費に応じて定額を選択した場合は、助成対象事業費の合計額に応じて50万円から100万円までの範囲内で定額交付とします(助成対象事業費の合計額が50万円以上あることが条件で、それに応じた金額を10万円未満は切り捨てて交付します)。

## 助成実績

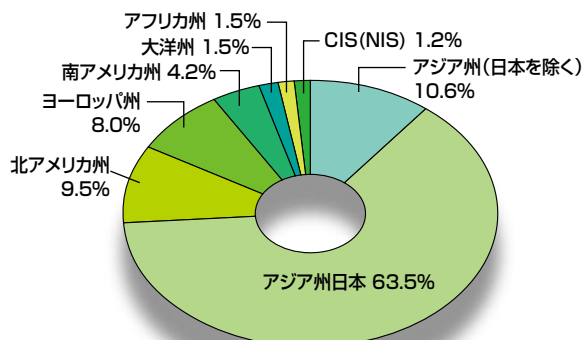
(平成26年3月現在)

### 分野別助成実績(S46～H26)



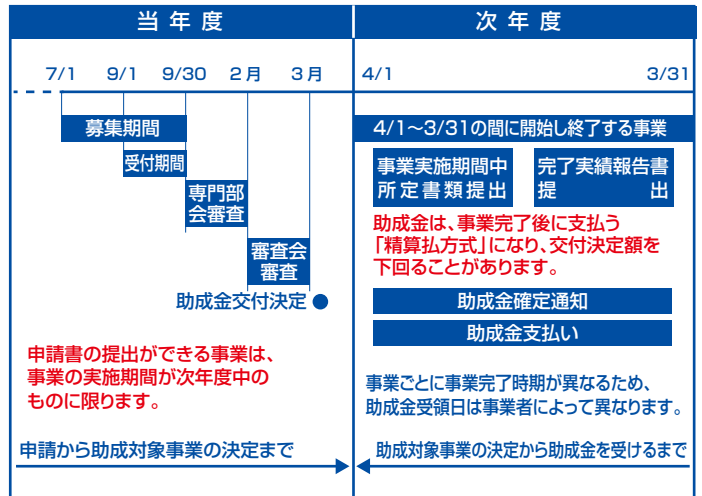
■実績/(4,330件) 188億5,600万円

### 地域別助成実績(S46～H26)



■実績/(4,330件) 188億5,600万円

## 助成事業スケジュール



### 日本万国博覧会記念基金事業審査会

#### 審査会審査委員

稲葉 カヨ	京都大学副学長、京都大学大学院生命科学研究所教授
近藤 誠一	近藤文化・外交研究所代表、同志社大学客員教授、前文化庁長官
坂本 和一	立命館大学名誉教授
西尾章治郎	大阪大学大学院情報科学研究科教授
三輪 昭	外務省特命全権大使(関西担当) / 政府代表
森西 真弓	大阪樟蔭女子大学文学部国文学科教授、雑誌「上方芸能」編集代表
鷲田 清一	大谷大学文学部教授、せんだいメディアテーク館長

#### 専門部会委員

##### 【国際交流・相互理解部会】

岡田 暁生	京都大学人文科学研究所教授
苧阪満里子	大阪大学大学院人間科学研究科教授
河島 伸子	同志社大学経済学部教授
木山 博資	名古屋大学大学院医学系研究科教授
杉原 充志	羽衣国際大学副学長・現代社会学部教授

##### 【学術・教育・環境部会】

勝岡 洋治	大阪医科大学名誉教授
木全 吉彦	大阪ガス株式会社エネルギー文化研究所長
高橋 憲明	中之島科学研究所長、大阪大学名誉教授
谷口 研二	国立高専機構 奈良工業高等専門学校長、大阪大学名誉教授
中村 佳正	京都大学大学院情報科学研究科教授

##### 【文化・芸術部会】

河内 厚郎	文化プロデューサー、神戸夙川学院大学観光文化学部観光文化学科教授
窪田 好男	京都府立大学公共政策学部公共政策学科准教授
佐々木 亮	公益財団法人サントリー芸術財団音楽事業部長、サントリーホールシニアプロデューサー
根岸 一美	同志社大学文学部美学芸術学科任期付教授、大阪大学名誉教授
福 のり子	京都造形芸術大学アートプロデュース学科教授 京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター代表

(敬称略 五十音順)

#### 問い合わせ先

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会 万博記念基金事業部  
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル29階  
TEL06-7507-2003 E-mail jec-fund@osaka21.or.jp  
▶基金事業の詳細については下記ホームページをご覧ください。  
<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/>